

新国立劇場 2022/2023 シーズンオペラ
ヴェルディファルスタッフ
Falstaff

2023年2月10日(金)~2月18日(土)

会場:新国立劇場オペラパレス 2022年11月27日(日)前売開始

子供文化芸術活動
支援事業により18歳以下
692名様
ご招待!

2018年公演より

この世はすべて冗談！ ジョナサン・ミラーの名演出に皆が生き生き動き出す、極上のコメディ

オペラの巨人ヴェルディがシェイクスピアの『ウィンザーの陽気な女房たち』をもとに、人生最後に手がけた喜劇『ファルスタッフ』。ドラマも音楽も圧倒的楽しさでいっぱいです。ジョナサン・ミラーの演出は、17世紀オランダ絵画に描かれた民衆の日常を研究した世界です。緻密な構図、静謐な色遣いの舞台はまるでフェルメールの風俗画から飛び出したよう。愛すべき人々が繰り広げる小気味よい喜劇と人間洞察に満ちたアイロニーは人間賛歌そのもので、劇場を幸福感で満たします。

大人気バリトン、アライモが得意のファルスタッフで新国立劇場デビュー！

タイトルロールにはロッシーニなどで世界を駆け巡るイタリアの大人気バリトン、ニコラ・アライモがオペラファン待望の新国立劇場デビュー。ファルスタッフはスカラ座をはじめ欧州各地で歌っている得意役です。アリーチェには比類ないテクニックと表現力で主要劇場に続々と出演し成功を重ねているソプラノ、ロベルタ・マンテーニャ、クイックリー夫人にはロッシーニを中心に欧米の歌劇場で活躍し、バロック、古楽でも評価の高いマリアンナ・ピッツォラート、フォードにはメキシコ出身の新星ホルヘ・エスピーノが出演します。ページ夫人メグにはイタリアでスター街道を駆け上り、昨年『チェネレントラ』で日本のオペラファンのお話をさらった脇園彩が登場、最高のアンサンブルに期待が集まります。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、公演内容や招聘スタッフ・キャストに変更が生じる場合があります。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木 綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

この世はすべて冗談！人生を笑い飛ばす、ヴェルディ最晩年の傑作喜劇

悲劇で名声を極めたヴェルディが、シェイクスピアの『ウィンザーの陽気な女房たち』『ヘンリー四世』を原作に、人生最後に手がけたのが極上の喜劇『ファルスタッフ』。圧倒的楽しさと人生哲学にあふれた、誕生したのが奇跡のような傑作です。強欲でも愛すべき老騎士ファルスタッフを中心に、快活で機知あふれる女性陣や若いカップルらが繰り広げるストーリー。音楽的なユニークさでも先進的で、ファルスタッフの自己中心的ながら憎めないキャラクターの滲むモノローグ、女声陣×男声陣×若者フェントンの1幕九重唱、そしてソリスト10人と合唱によるフィナーレの大フーガと、緻密な技法で練り上げられた、わくわくするような音楽がいっぱいです。

中でもファルスタッフが口火を切るフィナーレの大フーガ「この世はすべて冗談だ」は、ガラコンサートなどでも今やすっかり定番となった、お開きにぴったりのナンバーです。このオペラを聴けば人生前向きになること間違いありません。

まるで動くフェルメール！愛すべき生き活きとした民衆たち

『ファルスタッフ』の演出は、英国ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーやBBCの映像などシェイクスピア作品で知られた巨匠ジョナサン・ミラー。哲学者でもあり医師でもあった知の巨人ミラーは、シェイクスピアの時代のルネサンス家屋を詳細に記録したフェルメールの時代の17世紀オランダ絵画に着目、風俗画に描かれた民衆をつぶさに研究して、舞台上に蘇らせました。

フェルメールといえば30数点しかないという作品の希少性もあって、世界中に熱狂的なファンがいる伝説の画家。静謐な色調、光と影の扱い、タイル床や壁に掛けられた絵、調度品といった室内装飾、緻密に計算された舞台構図、衣裳、そしてニュアンスに富んだ人物造形などなど、ジョナサン・ミラー版『ファルスタッフ』にはフェルメールファンには見逃せない要素が盛りだくさんです。ぜひ劇場で“動くフェルメール”『ファルスタッフ』をお楽しみください。

文化庁「子供文化芸術活動支援事業」により 本公演に18歳以下合計692名様を無料ご招待！

子供文化芸術活動支援事業とは、新型コロナウイルス感染症の影響下において、劇場・音楽堂等で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験をする機会が多く失われている状況に鑑み、劇場・音楽堂等で行われる実演芸術を18歳以下の子供たちが無料で鑑賞できる取組を支援するものです。

“こども招待席”は一般発売に先駆けて受付を致しましたが、このたび11月27日(日)10:00より、二次募集を開始します。

【対象公演】

オペラ『ファルスタッフ』(イタリア語上演/日本語・英語字幕付)

2023年2月10日(金)19:00/12日(日)14:00/15日(水)14:00/18日(土)14:00

【二次募集受付開始】

2022年11月27日(日)10:00～



昨年度同事業によりオペラに集まった子ども、若者たち

【受付方法】

専用発売Webページ <https://nntt.pia.jp/ticketInformation.do?eventCd=2204639&rlsCd=032> より先着受付(お一人様1枚限り)

※ご来場されるお子様名義の新国立劇場Webボックスオフィスカウントでお申込みください(事前のご登録をおすすめいたします)。※お子様本人様がご登録・お申込みをされる場合には、事前に保護者の方に同意を得た上でお申込みください。※電話・窓口・郵送での受付はございません。

【対象席】

こども招待席のみ

※公演当日に小学生～18歳以下のお客様のみお申込みいただけます。※お席は指定エリアの中からお自身でお選びいただけます。※19歳以上の方は一般販売にてお買い求めください。

【チケット料金】

無料

※ただし、こども招待席のお申込みにあたり以下の手数料をご負担いただきます。発券手数料:110円/システム手数料:220円

【引取方法】

コンビニエンスストア引取(セブン-イレブン/ファミリーマート)

注意事項

・お申し込み後の変更・キャンセルはできません。・公演日当日に小学生～18歳以下のお客様が対象です。未就学児のお申込みはできません。

・本チケットは譲渡不可です。お申し込みされたご本人様以外の方はご入場いただけません。・来場時にご本人様確認をさせていただく場合がございます。必ず、お

<ものがたり>

【第1幕】太鼓腹が自慢の好色な老騎士ファルスタッフは、ページ夫人メグとフォード夫人アリーチェが自分に気があると勘違いし、彼女たちへ同時に恋文を書く。手紙を受け取ったメグとアリーチェは、身の程知らずな内容の上、全く同じ文面であることに呆れ顔。クイックリー夫人ら女性陣で懲らしめようと画策する。一方フォードも、妻アリーチェ宛にファルスタッフに恋文を書いたという従者からの情報を受け、ファルスタッフをやりこめようと意気込む。



【第2幕】クイックリー夫人が、アリーチェとの逢引きの時間をファルスタッフに伝えて、作戦がスタート。フォードは偽名を使い「アリーチェを誘惑してほしい」とファルスタッフに頼む。ファルスタッフは「アリーチェと会う予定だからお安いご用」と語り、フォードは驚愕する。迎えた逢引きのとき、ファルスタッフはアリーチェを口説いていると、筋書き通りメグが来て、彼は慌てて逃げる。そのとき、妻の浮気相手を捕まえようとフォードらが乗り込んでくる。彼がつい立ての向こうを確認すると、そこには娘のナンネッタとフェントンが。2人の結婚を認めないフォードは怒り心頭。洗濯籠の中に身を潜めていたファルスタッフは、女性陣のシナリオ通り籠ごと川に投げ落とされる。



【第3幕】散々な目に遭っても懲りないファルスタッフは、再びアリーチェと会う約束をする。今回の場所は真夜中のウインザー公園。精霊がさまようと言われる場所だ。約束の時間にファルスタッフとアリーチェが会うと、助けを求めるメグの声が響く。精霊があらわれたと怖がるファルスタッフは、目をつぶって横たわる。実はフォードらが妖精を演じているのだが、すっかり怯えたファルスタッフは、これまでのことを謝る。また、女性陣の計らいで、フォードもナンネッタとフェントンの結婚を認める。ファルスタッフは「この世はすべて冗談」と語って大団円となる。



<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】コッラード・ロヴァーリス

Corrado ROVALIS

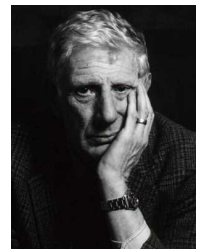
ベルガモ生まれ。フィラデルフィア・オペラ音楽監督、アートスフィア音楽祭管弦楽団音楽監督。ヴェローナの室内管弦楽団 "I Virtuosi Italiani" 首席指揮者。ペルカントやヴェリズモ・オペラで特に評価される。ミラノ音楽院で学び、ミラノ・スカラ座副合唱指揮者を務めた後、フィレンツェ歌劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルに招かれ、スカラ座、フェニーチェ歌劇場、ローマ歌劇場、ポローニャ歌劇場、リヨン歌劇場、モンテカルロ歌劇場、ローザンヌ歌劇場、ケルン歌劇場、フランクフルト歌劇場などに登場。1999年、フィラデルフィア・オペラ『フィガロの結婚』でアメリカ・デビュー。カナディアン・オペラ・カンパニー『アンナ・ボレーナ』『ロベルト・デヴェリュー』、サンタフェ・オペラ『シモン・ボッカネグラ』『愛の妙薬』『ドン・パスクワレ』『ルチア』『アルジェのイタリア女』などを指揮。フィラデルフィア・オペラではケヴィン・ブツ作曲『Elizabeth Cree』世界初演、ジョージ・ベンジャミン『リトゥン・オン・スキン』も絶賛された。最近では、フィラデルフィア・オペラ『リゴレット』『オテロ』、ベルリン・ドイツ・オペラ『セミラーミデ』、セビリア・マエストランサ劇場『フィガロの結婚』などを指揮している。新国立劇場では2019年『ドン・パスクワレ』を指揮した。



【演出】ジョナサン・ミラー

Jonathan MILLER

ロンドン生まれ。医学博士、作家、テレビプロデューサー、演劇・オペラの演出など幅広い分野で国際的に活躍。演劇演出家として、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーの『ヴェニスの商人』『じゃじゃ馬馴らし』や、1988年から90年まで芸術監督を務めたオールド・ヴィック劇場での『リア王』、80年からBBCが制作したシェイクスピアシリーズなど、シェイクスピア作品の演出で高い評価を得る。オペラ演出は74年のアレクサンダー・ゲアーの『Arden Must Die』イギリス初演に始まり、その後もイングリッシュ・ナショナル・オペラなどで『ミカド』『リゴレット』『ねじの回転』『ばらの騎士』『カルメン』などを演出し大成功を収める。ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ザルツブルク音楽祭など世界各地で活躍した。新国立劇場では『ファルスタッフ』『ばらの騎士』を演出。2019年11月逝去。



【ファルスタッフ】ニコラ・アライモ(バリトン)**Nicola ALAIMO**

パレルモ出身。トラーパーニのステファノコンクールに優勝後、ロッシーニ・アカデミーに参加。ラヴェンナ音楽祭『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵でデビューし、パレルモ・マッシモ劇場、ミラノ・スカラ座、フィレンツェ歌劇場などに出演を重ねる。ロッシーニ・オペラ・フェスティバルには2010年以来、『チェネレントラ』『セビリアの理髪師』『ギョーム・テル』『新聞』『イタリアのトルコ人』などに出演。ローマ歌劇場、パレルモ・マッシモ劇場、スカラ座、モンテカルロ歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ザルツブルク音楽祭などで『椿姫』『ジェルモン』『ファルスタッフ』タイトルロール、『セビリアの理髪師』バルトロ、『ルチア』エンリーコ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『ドン・パスクワレ』タイトルロール、『オテロ』イアーゴなどで活躍。リッカルド・ムーティとの共演は特に多く、ザルツブルク音楽祭、ローマ歌劇場『オテロ』、スカラ座、ローマ歌劇場『モイズとファラオン』、ウィーン国立歌劇場、シャンゼリゼ劇場『ドン・パスクワレ』などがある。最近の出演に、ザルツブルク音楽祭、フィレンツェ歌劇場、ウィーン国立歌劇場『アドリアーナ・ルクヴルール』ミシヨネ、オランダ国立オペラ、ボローニャ歌劇場、ウィーン国立歌劇場『チェネレントラ』ダンディーニ、パレルモ・マッシモ劇場、フェニーチェ歌劇場、フィレンツェ歌劇場『ファルスタッフ』、ウィーン国立歌劇場『ドン・パスクワレ』、ザルツブルク音楽祭、フィレンツェ歌劇場『セビリアの理髪師』フィガロ、今後の予定に、パリ・オペラ座『運命の力』、パレルモ・マッシモ劇場『椿姫』『ジェルモン』、モンテカルロ歌劇場『セビリアの理髪師』などがある。新国立劇場初登場。

**【フォード】ホルヘ・エスピーノ(バリトン)****Jorge ESPINO**

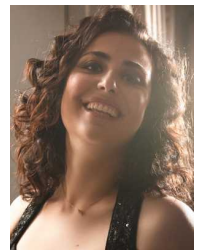
メキシコシティ生まれ。生地の国立音楽院で学んだ後、フィラデルフィアのアカデミー・オブ・ヴォーカル・アーツで学ぶ。2018年グラーツ・マイスターズコンクールで2位を獲得、19年にはカーディフ国際音楽コンクールの参加者に選ばれたほか、ユルマラ(フィンランド)、ニューヨーク、フィラデルフィア、グランドボーン、メキシコシティのコンクールでも入賞もしくはファイナリストになった。メキシコでは『西部の娘』シッド、『愛の妙薬』ベルコーレ、『ラ・ボエーム』マルチェロなどで出演したほか、コルティナで『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、サンタフェで『金鶏』アフォン王子、ライン・ドイツ・オペラ(デュッセルドルフ)で『魔笛』パパゲーノなどを演じている。ライン・ドイツ・オペラのオペラスタジオを経て19/20シーズンから同劇場専属歌手となり、『セビリアの理髪師』フィガロ、『清教徒』リッカルド、『ロメオとジュリエット』パリス、『子どもと魔法』時計と猫などに出演。22/23シーズンはライン・ドイツ・オペラで『愛の妙薬』ベルコーレ、『ドン・パスクワレ』マラテスタ、『蝶々夫人』ヤマドリなどに出演予定。新国立劇場初登場。

**【フェントン】村上公太(テノール)****MURAKAMI Kota**

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。文化庁在外派遣研修員としてイタリア・ボローニャへ留学。ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際コンクールにおいて『リゴレット』マントヴァ公爵役を獲得。シンガポール・リリック・オペラに『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『魔笛』タミーノ、『サロメ』ナラポート、『椿姫』アルフレードと立て続けに客演し、好評を博す。東京二期会では『マクベス』マルコム、『チャールダーシュの女王』ボニ、『ダナエの愛』ボルクス、『トリスタンとイゾルデ』メロートで活躍。16年日生劇場『後宮からの逃走』ベドリッコモも好演した。新国立劇場では『パルジファル』第1の聖杯騎士、『こうもり』アルフレード、『ばらの騎士』ファーニナル家の執事、『ウェルテル』シュミット、『カルメン』レメンダード、『ファルスタッフ』フェントンに出演している。最近では、20/21 シーズン開幕公演『夏の夜の夢』ライサンダー、『こうもり』アルフレード、『イオランタ』アルメリック、21/22 シーズン『ニュルンベルクのマイスターズinger』クッツ・フォーゲルゲザング、『蝶々夫人』ピンカートン、高校生のためのオペラ鑑賞教室2021『カルメン』ドン・ホセに出演、21年7月の本公演『カルメン』初日公演にも歌唱のみ出演。22年オペラ鑑賞教室『蝶々夫人』ピンカートンにも出演。二期会会員。

**【フォード夫人アリーチェ】ロベルタ・マンテーニャ(ソプラノ)****Roberta MANTEGNA**

1988年パレルモ生まれ。8歳からマッシモ劇場の舞台に児童合唱の一員として立つ。パレルモのベッリーニ音楽院を卒業。2015年にパリの音楽院でオペラ研修に参加。同時にローマのサンタ・チェチーリア音楽院でディミトラ・テオドシウとレナータ・スコットのもとで学ぶ。ローマ歌劇場の若手アーティストプログラム「Fabbrica」に参加。16年、トレヴィーソ歌劇場で『ノルマ』タイトルロールにデビュー。17年にはローマ歌劇場に『マリア・ストウアルダ』タイトルロールでデビューし、同劇場の『カルメン』ミカエラ(カラカラ浴場公演)、『群盗』アマリアに出演。同年、ナポリ・サンカルロ歌劇場のドバイ公演で『フィガロの結婚』伯爵夫人に出演。最近では、ジュネーヴ歌劇場『海賊』イモージェネ、パレルモ・マッシモ劇場『ファルスタッフ』アリーチェ、フェニーチェ歌劇場『ロベルト・デヴェリュー』、パルマ王立歌劇場、フェニーチェ歌劇場、ライプツィヒ歌劇場、ローマ歌劇場『イル・トロヴァトーレ』レオノーラ、フェニーチェ歌劇場、マラガ歌劇場、テアトロ・レアル『アイーダ』タイトルロール、ローマ歌劇場『ルイザ・ミラー』タイトルロール、パルマ王立歌劇場『シモン・ボッカネグラ』マリアなどに出演している。新国立劇場初登場。



【ナンネッタ】三宅理恵(ソプラノ)

MIYAKE Rie

東京音楽大学卒業、同大学院修了。バード音楽院特待奨学生修士課程修了。ドーン・アップショウに師事。これまでに小澤征爾音楽塾『カルメン』フラスキータ、日生劇場『フィデリオ』マルチェリーネ、P.ヤルヴィ指揮NHK交響楽団『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、藤倉大作曲『ソラリス』(日本初演)ハリー、東京二期会『ファルスタッフ』ナンネッタなどに出演。オペラ以外にも、F.ルイーゼ指揮「復活」、小澤征爾指揮「第九」や「マエストロ・オザワ80歳 パースデーコンサート」に唯一の女性ソリストとして出演するほか、フォーレ『レクイエム』、シューベルト『ミサ曲第5番 変イ長調』、モーツァルト『レクイエム』、ブラームス『ドイツ・レクイエム』、カール・ジェンキンス『レクイエム』、アンドリュー・ロイド・ウェバー『レクイエム』など宗教曲のソリストとしても活躍。新国立劇場では『パルジファル』花の乙女、高校生のためのオペラ鑑賞教室『愛の妙薬』ジャンネッタ、『ジークフリート』ハイライトコンサート「森の小鳥」などに出演を重ね、最近では『夜鳴きうぐいす』タイトルロール、『Super Angels スーパーエンジェル』エリカ、『魔笛』パパゲーナ、『オルフェオとエウリディーチェ』アモーレに出演。二期会会員。

**【クイックリー夫人】マリアンナ・ピッツォラート(メゾソプラノ)**

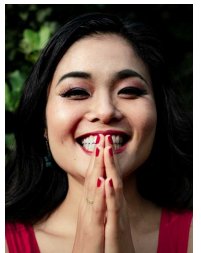
Marianna PIZZOLATO

イタリア生まれ。ロッシェニのスペシャリストとして活躍し、ペーザロ・ロッシェニ・フェスティバルに2003年に『ランスへの旅』でデビュー以来、『タンクレディ』『アルジェのイタリア女』『セビリアの理髪師』『エルミオーネ』『チェネレントラ』など数多く出演している。さらに、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、チューリヒ歌劇場、テアトロ・レアル、ボローニャ歌劇場、ワロン歌劇場などにも出演している。カヴァッリ、モンテヴェルディ、ヴィヴァルディ、ヘンデルなどのバロック作品も多く手掛け、ザルツブルク音楽祭、ミラノ・スカラ座、バルセロナ・リセウ大劇場に加えて多くのバロックの音楽祭に出演している。モーツァルト、ドニゼッティ、ヴェルディ、ブッチェリなどのオペラのレパートリーのほか、宗教曲を中心としてコンサートのソリストとしても活躍し、ムーティ、ジェルメッティ、パツパーノ、ガッティ、ビシュコフ、ゼッターらと共に、録音も数多い。新国立劇場初登場。

**【ページ夫人メグ】脇園彩(メゾソプラノ)**

WAKIZONO Aya

東京生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。2013年、パルマ・ボーイト音楽院に留学。14年にペーザロのロッシェニ・アカデミーに参加し『ランスへの旅』メリベア侯爵夫人に出演。同年、ミラノ・スカラ座アカデミーに参加、『子供のためのチェネレントラ』アンジェリーナでスカラ座にデビュー。18年にはペーザロ・ロッシェニ・フェスティバルでロッシェニ生誕150年記念『セビリアの理髪師』ロジーナに出演。ロッシェニ、モーツァルト及びベルカント作品をレパートリーの中心に活躍し、ボローニャ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、カリアリ歌劇場、バーリ・ペトルツェツェリ劇場、ロッシェニ・オペラ・フェスティバル『セビリアの理髪師』、ヴェローナ・フィラモニコ劇場『チェネレントラ』、マルティーナ・フランカ音楽祭『フランチェスカ・ダ・リミニ』パオロ、カリアリ歌劇場、ロッシェニ・オペラ・フェスティバル『試金石』クラリーチェ、ヴェローナ・フィラモニコ劇場『フィガロの結婚』、トリエステ・ヴェルディ劇場『コジ・ファン・トゥッテ』、『ナブッコ』フェネーナ、パレルモ・マッシモ劇場『イドメネオ』イダマンテなどに出演。新国立劇場へは19年『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラでデビューし、20年『セビリアの理髪師』ロジーナ、21年『フィガロの結婚』ケルビーノに出演、21年10月にはシーズン開幕公演『チェネレントラ』タイトルロールに出演し絶賛を博した。第53回ENEOS音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。



文化庁 子供文化芸術活動支援事業
 新国立劇場 2022/2023 シーズンオペラ
 ジュゼッペ・ヴェルディ

ファルスタッフ

Giuseppe VERDI / Falstaff
 全3幕〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】2023年2月10日(金)19:00／12日(日)14:00／15日(水)14:00／18日(土)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:24,200円・A:19,800円・B:13,200円・C:7,700円・D:4,400円・Z:1,650円

【前売開始】2022年11月27日(日)

※予定上演時間：約2時間35分（休憩含む）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、公演内容や招聘スタッフ・キャストに変更が生じる場合があります。

指揮	コッラード・ロヴァーリス	ファルスタッフ	ニコラ・アライモ
Conductor	Corrado ROVARIS	Sir John Falstaff	Nicola ALAIMO
演出	ジョナサン・ミラー	フォード	ホルヘ・エスピーノ
Production	Jonathan MILLER	Ford	Jorge ESPINO
美術・衣裳	イザベラ・バイウォーター	フェントン	村上公太
Set and Costume Design	Isabella BYWATER	Fenton	MURAKAMI Kota
照明	ペーター・ペッチニック	医師カイウス	青地英幸
Lighting Design	Peter PETSCHNIG	Dr. Cajus	AOCHI Hideyuki
		バルドルフォ	糸賀修平
		Bardolfo	ITOGA Shuhei
		ピストーラ	久保田真澄
		Pistola	KUBOTA Masumi
		フォード夫人アリーチェ	ロベルタ・マンテーニャ
		Mrs. Alice Ford	Roberta MANTEGNA
		ナンネッタ	三宅理恵
		Nannetta	MIYAKE Rie
		クイックリー夫人	マリアンナ・ピッツォラート
		Mrs. Quickly	Marianna PIZZOLATO
		ページ夫人メグ	脇園 彩
		Mrs. Meg Page	WAKIZONO Aya

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/falstaff/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,650円：公演当日朝 10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。*未就学児入場不可。

* 新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

本公演はレパトリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】

新国立劇場オペラ『ファルスタッフ』2018年公演より 撮影:寺司正彦

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町 1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結。